



春の街道ニュースをお届けします。

みやぎ街道交流会ニュース

第13号 2010年5月7日発行

INTERVIEW

地名から古里を知り、次世代へ伝えたい

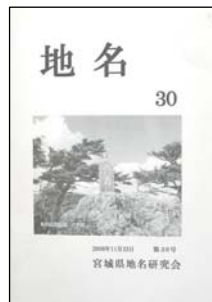
交流会ニュース第13号では、宮城県地名研究会会長であり、当交流会の顧問である太宰幸子さんに、宮城県地名研究会の取り組みについてご紹介いただきました。

宮城県地名研究会は、平成5年11月23日に設立されました。民俗学者であり、日本地名研究所所長の谷川健一先生より、宮城県にも地名研究会を設立するようにと要請が同年の7月にありました。それを機に、前会長の鈴木市郎氏から急遽召集され、早いもので今年で18年目になります。会員募集のために、二人であちこちと駆け巡った日々が懐かしくささあります。私もまだ40代でしたので、がむしゃらに研究・調査に励んだものです。

機関誌「地名」を年2回発行、間もなく31号が発行されます。会員にとっては研究の発表の場が、誌上と会場との2カ所になります。是非、聞きに来て頂ければ幸いです。調査研究には長い時間と費用、そして健康な体が必要になります。

秋には毎年地名探訪会を実施し、県内外問わず現地へと足を運び、知識を深める取り組みを行っています。年明けには新年懇親会を実施し、この会ではミニ探訪会も行い、身近な地名や歴史の跡を知る機会を持っています。この日はワイワイ互いの研究などを話しながら、舌鼓を打ち、意気を高める時間となります。一年を通して活動は続きますが、夏には、地名本来の勉強をするため、地名講座を開いています。平成21年度は、新潟地名研究会会長をお招きしてカケ・ガケ地名の講話をお聞きしました。当然春秋の研究発表会でも講師をお招きし視野を広める機会を得ています。

機関誌「地名」表紙



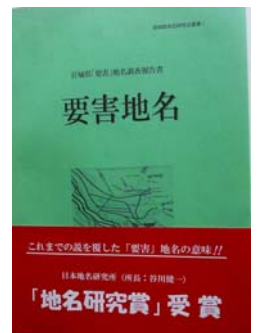
写真：左・H21秋の研究大会発表中・新年懇親会 右・ミニ探訪会



宮城県地名研究会 会長 だざい ゆきこ
みやぎ街道交流会 顧問 太宰 幸子 氏

年一度の日本地名研究所主催「全国地名研究者大会」では、何度が発表の場をいただき、エミシの国からの発信を行っております。今年は遠野物語が著されて100年を記念し、岩手県遠野市が会場になります。私も「岩手・宮城の金属地名」のタイトルで研究発表する時間をいただきました。是非足を運んで頂ければ嬉しいです。

研究成果をできるだけ冊子にまとめたいと、2007年5月「宮城県内の要害地名調査報告書」を発行しました。13年間を要し、県内135カ所を調査・聞き取りしたもので、同じ地に何度も足を運びまとめたものです。武将の要塞や砦である思われていた地が、本当は「ヌミ」と呼ばれる沼や水辺の岸を意味していた。古代からの地名が歴然と残っていたのでした。誇るべき調査研究と自負しております。お陰さまで翌年には、日本地名研究所より「地名研究賞」を受賞しました。



宮城県内の要害地名調査報告書

現在は、自然災害地名の小冊子を作成しており、近いうちに発刊の予定です。近年とみに地震や洪水など自然災害の悲報が続いていますが、地名は、古くから災害・崩壊のあった地を伝えていきます。誰もが気付かない、そうした祖先からのメッセージを、たくさんの方々を知っていただき、善後策のお役にたって欲しいという念願からの発刊です。

微力な会ではありますが、たくさんの方々のご協力をいただきながら、今日まで活動できております。今後も皆様のご支援・ご協力を願ってやみません。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

ちょっとここで地名豆知識

「死人沢」などちょっと怖い地名は、昔ここで製鉄などが行われていたことが多いそうです。表紙写真「米ヶ袋」のコメやヨナは川の氾濫などや洪水により上流から運ばれた土砂が堆積した地、また小豆が付く地名は、まさに小豆が転がるように土地が崩れることを、昔の人が後世に伝えた地名です。

地名のことがもっと知りたい方はコチラへ・・・宮城県地名研究会連絡先

〒989-4103 宮城県志田郡鹿島台町広長字鹿島 71-5 / TEL & FAX 0229-56-9459

地図提供：宮城県地名研究会



「芭蕉の道をたどり、往時をしのぶ集い」 in 上街道

元禄2年(1689年)5月14日記～南部道はるかに見やりて岩手の里に泊まる～。こう記して芭蕉と曾良が歩いた上街道(一関～岩ヶ崎・真坂・真山～岩出山※一関では迫街道)の探訪会が、先月24日に開催されました。みやぎ街道交流会京野副会長が代表を務める「おくの細道松島海道」、一関の「いわいの里ガイドの会」及び岩出山の有志で実行委員会を組織し主催したもので、「みやぎ街道交流会」も実行委員会を側面から支援しました。当日は、宮城県の仙台、多賀城、松島、栗原や岩手県の一関などから51名の参加となり、一関市「蔵元レストラン世嬉の一」での開校式の後、芭蕉が二泊したと云われる「二夜庵跡」前で説明をうけ、岩出山を目指しバスで見学を行いました。

2010.4.24
岩手県一関市～宮城県栗原市・大崎市 /山屋レポートより

今回の企画に際して参加者の満足が得られたことは幸いでした。身近な仲間たちが集ったことによる意義は非常に大きいと思います。今後の集いに期待します。

写真左から…東塚での記念撮影/昭和に整備された石畳 /千本松長根



すみだ街道倶楽部 交流事業「火縄の道探訪交流会」

2010.4.25～26 岩手県気仙沼郡住田町五葉地区 /松川・横山レポートより

「すみだ街道倶楽部」は、岩手県気仙沼郡住田町で活動を始めて間もない会です。4月25日(日)～26日(月)にかけて住田町五葉地区を会場に「火縄の道探訪交流会」が行われました。



1日目は、まず鉄砲隊の演武を見学しました。五葉山一帯は伊達藩の直轄領として日本一の火縄の生産地であった…という歴史を掘り起こし、伊達家直参の鉄砲隊として現代に蘇ったのが「五葉山火縄鉄砲隊」です。火縄銃の射撃音が山々にこだまし、迫力満点の演武でした。次に、その昔火縄が運ばれたであろう桧山川沿いの「火縄の道」を案内いただき、室町時代から伝わる阿彌陀如来像などを見学しました。さらに鉄砲隊の活動拠点でもある、桧山地区の羅象館にお邪魔し、地元の漬物やお餅を頂きながら、鉄砲隊の大目付である千田明雄氏より、鉄砲隊の活動などの興味深い講話をいただきました。伊達家直参の鉄砲隊のため、当然5月の仙台青葉まつりにも出陣するそうです。皆さんもご覧になってはいかがでしょうか。

2日目は快晴の中、待望の滝観洞(ろうかんどう)を見学しました。延長880mの先にある「天の岩戸の滝」は洞窟内の滝としては日本一、何億年も悠久の時をかけて、大自然が創り出した神秘的鍾乳洞は「すばらしい」の一言です。その後は、昨晚街道談義に飛び入り参加となった佐々木公一氏の木彫工房「五葉舎」を訪ねました。木彫制作の繊細な手作業の様子や作品を間近で拝見しましたが、こちらも見事でした。最後に当初予定にはなかった民族資料館見学では、一緒に参加した太宰顧問(巻頭言参照)が、地名学研究をはじめるきっかけになった製鉄関係資料の展示に「すばらしい」を連呼、また逆に技術助言する場面も見られるなど新たな交流の広がりが垣間見られました。

↓羅象館前で記念撮影

発足間もない「すみだ街道倶楽部」ですが、みやぎ街道交流会にとっても今後の活動や連携に期待できる頼もしい存在だと感じました。濃密で充実した交流会でした。



下段写真左から…迫力満点の火縄の演武/火縄の道「桧山地区」探訪/囲炉裏を囲んでの講話/講話もいただいた大目付の千田さん/滝観洞見学/「五葉舎」木彫見学/住田町民俗資料館

第6回羽州街道交流会 セブツ大会

～第6回を迎え、設立の地セブツに帰ってきます～
昨年の青森県大鰐大会に続き、今年は設立総会開催の地「宮城県セブツ町」で開催されます。

日時：5月22日(土)～23日(日)
問合せ先：羽州街道交流会 事務局

TEL：023-695-6222 /FAX：023-695-6223
e-mail：Info@ushukaido.com

2009年5月～

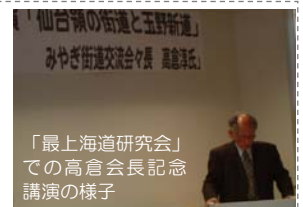
街道イベントカレンダー

みやぎ街道交流会

第2回交流大会 in 加美(仮称)

4月25日開催「最上海道研究会」総会後の高倉会長の記念講演「仙台領の街道と玉野新道」が加美町での大会開催のきっかけとなりました。
日時：10月2日(土)～3日(日) ※予定
問合せ先：みやぎ街道交流会 事務局

…現在企画進行中です。まずは日程の確保をお願いいたします!



みやぎ街道交流会 平成22年度総会・記念講演会

記念講演：政宗期の領内整備と街道～戦国から近世への街道～
講師：仙台市博物館市史編さん室長 菅野 正道氏
問合せ先：みやぎ街道交流会 事務局まで

日時：5月29日(土)
10時00分～記念講演会/11時30分～平成22年度総会場
場所：仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ

会員みなさまへ お・知・ら・せ

●交流会のホームページができました。
～「みやぎ街道交流会」で検索してください～

URL：http://www.tohoku-kaido.com/miyagi/index.html
ニュースバックナンバーやイベントレポートもご覧いただけます。今後も情報の充実にも努めてまいります。どうぞご活用ください!



●交流会事務局を移転しました。

新事務局所在地及び連絡先

所在地：〒980-0014
仙台市青葉区本町1丁目13-32 オーロラビル 606
連絡先：TEL 022-722-3380 FAX 022-722-3381
E-mail: miyagi-kaidou@auone.jp
※Eメールは変更ありません。

編集後記

新年度がスタートして早1ヶ月が過ぎました。春は出会いの季節と言いますが4月から新生活を迎えられた方も多いのではないのでしょうか。みやぎ街道交流会事務局もこの4月に新たな事務所へ引越し、新たなスタートをきったばかりです。またニュース第13号では、また太宰顧問の地名研究会の取組紹介とともに、発足間もない「すみだ街道倶楽部」の初イベントの様子などフレッシュな話題を中心にお届けしました。

さて、交流会ニュースは春夏秋冬の年4回発行しています。次回交流会ニュース夏号は8月頃の発行を予定しています。会員の皆様の身近な活動報告や、街道・歴史にまつわるおもしろいお話など、ニュースで紹介したい話題がありましたら是非事務局までお寄せください。情報お待ちしております。次回もどうぞお楽しみに。(くり)